2　アジア州の農業・文化と経済発展

○気候と農業・食の結び付き

東アジアから南アジア：季節風の影響で湿潤、平野部に多くの人が暮らし農業が盛ん

インドのガンジス川流域・中国の南部・東南アジアの平野部：（　かんがい　）による（　稲作　）

※（　かんがい　）とは、農作物を育てるための水を河川や地下水などから水路を引き、農地を潤すこと

インドの西部・中国の北部：小麦やトウモロコシなど（　畑作　）が中心

西アジア・中央アジア：羊やラクダなどの家畜を飼う（　遊牧　）が行われる

＜米と小麦の生産（2018）＞

アジア諸国中心

米の生産（7億 8200 万t）	
中国	27.1%
インド	22.1
インドネシア	10.6
バングラデシュ	7.2
ベトナム	5.6
タイ	4.1
その他	23.3

中国・インドの生産が多い

小麦の生産（7億 3518 万t）	
中国	17.9%
インド	13.6
ロシア	9.8
アメリカ	7.0
フランス	4.9
カナダ	4.3
その他	42.5

○交流によって広まった宗教

（　仏教　）：インドで生まれ、スリランカから東南アジア、シルクロードから中国・朝鮮半島、日本に伝わる

（　イスラム教　）：西アジア・中央アジア中心。インド洋の海上貿易で南アジア・東南アジアに伝わる

（　ヒンドゥー教　）：インドで信仰される

（　キリスト教　）：ヨーロッパの人々の布教活動や植民地支配によりアジア各地に広がる

＜各国の宗教別人口の割合＞

タイ（2015）		インドネシア（2010）		フィリピン（2015）		インド（2011）		イラン（2011）	
仏教	94.6%	イスラム教	87.2%	キリスト教	91.8%	ヒンドゥー教	79.8%	イスラム教	99.3%
イスラム教	4.3	キリスト教	9.9	イスラム教	6.0	イスラム教	14.2	その他	0.7
その他	1.1	ヒンドゥー教	1.7	その他	2.2	キリスト教	2.3		
		その他	1.2			その他	3.7		

○人口の集中と経済発展

アジア：世界の総人口の6割が暮らす→季節風で湿潤となる地域に集中

20 世紀後半：日本に続き、韓国やシンガポールなどの経済が発展

21 世紀：東南アジアや中国の経済が発展、この動きは南アジアへ広がる

→経済発展を遂げた国では（　都市化　）が進む